

ここに気をつけろ！

税務調査に対応できる決算の仕方

税務調査は、法人によってかなりの程度差があるようですが、中小法人の場合は3年～7年程度のサイクルで行われていると言われています。

今は、法人税・消費税・源泉税・印紙税の同時調査が一般的で消費税については、赤字企業でも調査されることがあります。

厳しい経営環境の中で、日常の経理処理が税務調査により否認されることは、思わぬ痛手となる可能性があります。

そこで本セミナーは、いかにして税務調査を乗り切るか、指摘を受けない決算を進めるか、その要諦をケーススタディをもとに、気鋭の公認会計士が説きます。実務に役立つ本セミナーを受講されることをお勧めします。

日時：平成25年1月17日（木）13：30～16：30

受講料：会 員 4,000円（テキスト代・税込み）

非 会 員 6,000円（テキスト代・税込み）

※当日受付にて

1/17（木）

※会員の方は平成24年度の受講券(1,000円割引)が利用できます。

（受講券はホームページの経営支援の中の研修会・説明会予定をクリックしていただき、ページ下にあるセミナー受講券をクリックし、プリントアウトしてご持参下さい）

会 場：戦災復興記念館5階会議室（仙台市青葉区大町2-12-1）

※会場には専用駐車場がございませんので、

有料駐車場または公共の交通機関をご利用願います。

主 催：(社)仙台北法人会・(社)仙台中法人会・(社)仙台南法人会

※講座内容・会場に関するお問い合わせは

仙台北法人会事務局へ【TEL】 022-263-0151

ホームページ【URL：www.kitaho.or.jp】からの

申し込みですと簡単にできます。または【仙台北法人会と検索願います。】

☆キャンセルの場合は必ず仙台北法人会事務局までご連絡願います。



【税務調査セミナー 受講申し込みFAX用紙】送付先 **FAX 022 (268) 0205**

法人名		会 員 の有無	会 員 / 一 般
住 所	〒	電話番号	
FAX番号	Eメール アドレス	@	
受講者名			

※個人情報の取り扱いについては、本会の事業活動以外の目的で利用することは一切ございません。

税務調査に対応できる決算の仕方

講座内容

1. 模擬税務調査

- ①脱税は足跡から発覚
- ②意外に多いタレコミから開始される税務調査
- ③税務署はどうやって準備調査を行っているのか
- ④税務調査が喜ばれるケース！？
- ⑤タンス預金は税務調査が難しい？
- ⑥税務署から送られて来る「お尋ね」とは
- ⑦立証書類の整備が何よりも大切

2. 業種別税務調査対策

3. 税制改正に基づく科目別税務調査対策

- ①交際費
- ②役員報酬
- ③寄付金
- ④旅費交通費
- ⑤資産評価損
- ⑥修繕費
- ⑦その他



● 講師／ 土屋 晴行 氏 公認会計士・不動産鑑定士・中小企業診断士

1960年生まれ。東京大学経済学部卒。公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士として、監査、経営診断、経営指導に活躍。指導の的確さ、解説の判りやすさは定評がある。

日本公認会計士協会公会計特別委員会委員、同協会東京会税務委員会委員などの要職を歴任。

著書『バランスシートの読み方練習帳』『土地建物の 税金Q&A』（こう書房）

『公会計制度の解説』（ぎょうせい）

『商法がわかった』（法学書院）他10冊余